

EUにおける移民を対象とした公共図書館サービス

—社会的統合と生涯学習政策の観点から—

Public library services for immigrants in EU :

From the view point of integration and lifelong learning policies

学籍番号：201221600

氏名：萬波 幸

Sachi MAMBA

EUの加盟国は、他の加盟国から、あるいはEU圏外の地域から様々な文化的背景を持つ人々を受け入れており、移民の受け入れ社会への「統合」が政策課題として挙げられている。移民の社会的統合へ向けた政策を推進していく上で、自治体レベルで存在する公共図書館は地域の文化・情報の拠点として期待されている。本研究ではEUにおいて、その加盟国が共通して抱える移民の「社会的統合」に向けてどのように連携し、移民政策の要の一つである教育分野において、公共図書館はどのような形で貢献できるのかを生涯学習政策と移民の社会的統合政策の2つの側面から調査した。

文献調査では、EUの生涯学習政策、移民の統合政策についてEUの報告書を中心にまとめ、さらに、EUの政策の一環で行われた公共図書館における優良実践をEUのウェブサイトから選出し、関連する報告書をもとに調査した。フィールドワークでは、EUから資金提供を受け移民向けのプロジェクトを行った公共図書館を実際に訪問し、図書館員へのインタビューを通してプロジェクト当時の状況や、その後の継続性について明らかにした。

調査の結果から、EUにおける生涯学習政策のなかで公共図書館の位置づけは他の教育・文化機関と区別して明確に提示されていないものの、生涯学習の実践の場として公共図書館が重要な役割を担っていることが明らかになった。また公共図書館が市民同士の交流の機会を作りだし、移民は社会参加に積極的になり、受け入れ先の社会の市民はプロジェクトでの経験を通して地域の多様性、移民の文化について興味を持つようになるといった流れが構築されていることが分かった。

本研究によって、EUにおける移民の社会的統合政策の中の公共図書館の明確な位置づけを明らかにすることはできなかった。今後、EUにおいて公共図書館の価値が再検討され、政策過程の中で明確な位置づけがなされることが期待される。

研究指導教員：吉田右子

副研究指導教員：平久江祐司